

対象国の条件 : 資格要件に合致した研修員を選出できる国

研修コース番号 : 201984816-J002

案件番号 : 201984816

主分野課題 : 環境管理/気候変動対策

副分野課題 :

使用言語 : 英語

案件概要

国家、地域、又はセクターレベルの気候変動への適応に関する政策策定や、適応方策の立案を担当する中央行政機関、地方行政機関を対象に、担当行政官の能力向上を図るもの。研修前半では、適応概論、国際的枠組、日本の取組方針等、政策策定に係る講義・演習・見学等を中心とした研修を、後半では、気候変動予測、影響評価、脆弱性評価、自治体における取組等、セクター別アプローチを中心とした研修を行う。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

研修員の所属組織における、気候変動への適応に関する政策/施策の、策定または改善に向けた取組が計画される。

【成果】

- (1) 研修員の所属組織における気候変動への適応策に係る現状と課題を説明できる。
- (2) 気候変動への適応に関する国際枠組及び国際動向について説明できる。
- (3) 気候変動の影響評価、脆弱性評価、気候変動予測について説明できる。
- (4) 我が国の気候変動への適応に係る政策方針、国内対策、活用技術、取組事例について説明できる。
- (5) 研修員の所属組織が抱えている課題解決に向けたアクションプランが作成される。

【対象組織】

途上国における気候変動への適応政策の策定に携わる中央行政機関または地方行政機関

【対象人材】

職位：気候変動の適応政策の策定に携わる中央行政機関または地方行政機関の行政官（フォーカルポイント等の政策策定担当者、または適応政策担当者）
職務経験：気候変動関連分野における実務経験が3年以上の者。

内 容

【事前活動】 インセプションレポート作成
【本邦研修】 インセプションレポート発表

1. ～3. 講義、討論、演習、視察
 - ・気候変動への適応（概論）、気候変動への適応に関する国際枠組、気候変動への適応に関する国際動向（適応基金等）
 - ・気候モデルと地球シミュレーター、気候変動の観測及び予測、気候変動の影響評価と脆弱性評価（セクター別、農業、防災等）「美しい星への行動2.0(ACE2.0)」を含む我が国の気候変動対策への取組方針
 - ・気候変動への適応に対するJICAの協力方向性・取組事例、気候変動への適応に対する我が国の国内対策、活用技術、取組事例等の見学、開発途上国における適応策の優良事例、PCM演習
4. アクションプラン作成・発表

本邦研修期間

2019/5/19～2019/6/13

担当課題部

地球環境部

所管国内機関

JICA筑波（研修業務）

関係省庁

実施年度

2017～2019

主要協力機関

一般社団法人 海外環境協力センター（OECC）

**特記事項
及び
ホームページ**